

第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成25年5月31日(金) 5校時
対 象 男15名 女11名 計26名
指導者 江六前 理香子

- 1 単元名 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう(光村図書 上)
主教材 「百年後のふるさとを守る」(伝記)

2 単元について

(1) 児童について

児童は、「読むこと」の学習において、人物の行動や気持ちを叙述に即して読みとること、事実の説明と筆者の考えを読み分け、その関係をとらえることは繰り返し行っている。5年上「のどがかわいた」では、人物像と人物どうしの関わりに気をつけて読んだ。考えの形成と交流に関わることとして、自分の生活との接点を考えて読むことや考えをまとめる活動も経験している。また、感想を発表し交流することも経験してきている。

しかし、国語の学習は苦手と感じている子が多い。叙述を基に読む力や、自分の考えをもち、感想を書く力、それを発表する力は不十分である。

本単元では、導入段階で学習のゴールを確認し、児童に見通しをもたせて学習を進めることや、手順をふんで学習していくことで、学習へ意欲的に取り組むことができるようにしたい。「自分の生活や考え方に照らしあわせること」に焦点を当てて読み、読んだことがこれからの自分の生き方などに、なんらかの意味をもつようにさせたい。

(2) 教材について

小学校学習指導要領国語科第5学年及び第6学年の「読むこと」における目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けるさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めようとする態度を育てる。」である。本単元では「読むこと」の指導事項オ「本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」を主目標とする。

本単元は、「浜口儀兵衛」という人物の人生を描いた伝記「百年後のふるさとを守る」を中心教材として、「百年後のふるさとを守る」の読解—さまざまな伝記を読む—自分の考えを書きまとめ、発表するという構成になっている。

「百年後のふるさとを守る」は、江戸時代、堤防建設を行った浜口儀兵衛の業績を題材とする伝記である。儀兵衛は、津波で荒廃した故郷を再生するために、私財を投じて材料費や賃金を払い、村人たちと共に堤防を建設した。そして、儀兵衛の功績として、住民の自分の住む所を守ろうとする意識を高めたことや、百年後という長期防災計画の有効性を教えてくれたといったことが挙げられている。ふるさとの将来を考えて行動した儀兵衛の生き方を理解することで、儀兵衛の決断力や勇気、意志の強さ、行動力などに人間的な魅力を感じとり、児童は自分自身を見つめ直し、自分の生き方について考えることができると思われる。

また、本教材は伝記であり、出来事や人物の行動について時間の順序に沿って物語のように書かれている。出来事や人物の行動から人物の考え方をとらえたうえで、人物の業績に対する筆者の考えをとらえていくようにしたい。そのうえで、人物の生き方や考え方と自分の経験や考え方を重ねていけるようにしたい。

そして、「百年後のふるさとを守る」で身に付けた伝記の特徴を押さえた読み方を生かし、第三次の「自分の読んだ伝記を紹介しよう」という活動につなげていきたい。

(3) つけたい力と読みの方法

【目的に応じて、事実と意見の関係をおさえて読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり、深めたりする力】

【出来事や人物の行動からとらえた人物の生き方や考え方と自分の経験や考え方を重ねて考える力】

単元を貫く言語活動

伝記を読んで、自分の生き方について考える。

- 伝記に描かれた人物の行動や生き方に着目して読む。
- 自分の経験や考えなどとの共通点や相違点を見つけ、共感するところや取り入れたいところなどを中心に考えをまとめる。
- ①人物の尊敬できる叙述とその理由（自分の経験や考え方との相違点・自分だったら…、自分の生活で言うと…）
- ②これからの自分の生活につなげていきたいことを考える。（自分もこうありたい）

「見通す」の段階で、単元のゴール「伝記を読んで自分の生き方について考え紹介する」を確認し、イメージをもたせる。また、第3次の活動に向けて並行読書を行わせる。

「深める」段階では、主教材「百年後のふるさとを守る」で、**伝記の読みとり方をしっかりと身に付けさせる**。「人物がしたことや業績を読み取る（事実の説明）」「人物の考えを読み取る（物語的な叙述）」「筆者の考えを読み取る（筆者の考え）」を確実に身に付けさせる。一昨年の東日本大震災や復興に向けての現状などとも関わらせて考えさせたい。

「まとめる」段階では、読みとったことを基に、**儀兵衛の生き方や考え方と自分とを重ねて、自分の生き方考える**活動をしていく。**友達と交流することで、自分の考えを深めさせたい**。そのために、**まず、自分の考えをしっかりとまとめる**。①人物の尊敬できる叙述とその理由（自分の経験や考え方との相違点・自分だったら…、自分の生活で言うと…）②これからの自分の生活につなげていきたいこと（自分もこうありたい）という視点を与えて考えさせる。交流の際には、話し合いの仕方を掲示物を用いて説明し、自分の考えと比べて友達の考えをよく聞こうとする意識をもたせるようにする。

「広める」段階では、主教材で身に付けた伝記の特徴を生かした読み方を生かして、**自分の読んだ伝記を紹介する**活動を行う。発表し合う活動を通して、**自分の生き方について考えを広げたり、深めたりさせたい**。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	○自分の生き方を考えるという目的に向かって、進んで伝記を読んで考えようとする。	・伝記という文章や、そこに描かれている人物の生き方に興味をもち、読むことを楽しんでいる。
読む能力	◎自分の生き方について考えるという目的に向かって、事実と意見の関係をおさえて読んで、考えたことを発表し合い、自分の考えを広めたり、深めたりすることができる。	・自分の経験や考え方と照らし合わせて描かれている人物や出来事、筆者のものの見方・考え方について感想をもっている。（読むこと（1）ウ） ・友達の感じ方、考え方との共通点・相違点を確認している。 （読むこと（1）オ）
書く能力	○書いたものを発表し、表現のしかたに着目して助言し合うことができる。	・他者の文章を読んで、優れた点（内容・表現）を指摘している。 （書くこと（1）カ）
言語についての知識 ・理解・技能	○文章にはいろいろな構成があることについて理解することができる。	・伝記を読み、その構成や特徴について気付いている。 （伝国（1）イ（キ））

4 単元の指導計画と具体的評価規準（12時間扱い）

段階	時	学習活動	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
見通す	1	学習の目的を知り、見通しをもつ。 ①伝記を読んだ経験や感想を發表し合う。 ②単元名・リード文から学習課題を設定する。 ③これまでの自分の生き方や考え方を振り返る。	・伝記を読んだ経験や感想を進んで發表しようとしている。(發表) ・自分の生き方や考え方を振り返り、書こうとしている。(ワークシート)				
	2	「百年後のふるさとを守る」を読んで、自分の生き方について考える。 ・全文を通読し、大体の内容と文章構成をとらえることができる。				・大体の内容と文章構成をとらえることができる。 (ワークシート・發言)	・新出漢字や意味の分からない言葉について確認する。
深める	3	・大段落1、2を読み、大きな出来事と儀兵衛のとった行動をまとめる。 ・大段落2における儀兵衛のとった行動に対する感想を發表し合う。				・出来事を語る部分・事実の説明・筆者の解説の部分とを区別してとらえている。 ・儀兵衛のとった行動に対して感想をもつことができる。 (ワークシート・發言)	
	4	・大段落3を読み、大津波が去った後の出来事や儀兵衛のとった行動についてまとめる。				・大段落3についてまとめることを通して、出来事と人物の行動をとらえることができる。	
	5	・大段落3における儀兵衛の行動を支えている考え方について考えて、話し合う。				・儀兵衛のとった行動に対して考え、感想をもつことができる。(ワークシート・發言)	
	6	・大段落4を読み、筆者が儀兵衛の業績について				・儀兵衛の行動や思いをまとめている。	

		てどう考えているのかをまとめる。				・儀兵衛に対する筆者の考えをまとめている。 (ワークシート・発言)	
まとめる	7	・儀兵衛の生き方や考え方について交流し、自分の考えを広げたり、深めたりする。				・友達と意見を交流して、自分の考えを広げたり、深めたりしている。 (ワークシート・発言)	
	8	・交流したことをもとに紹介文を書く。			・儀兵衛について考えたことをまとめている。(ワークシート)		
広める	9	他の人物の伝記を読んで、自分の生き方について考える。					
	10	・自分が選んだ人物について、行動や言葉、業績をまとめ、考えたことや感じたことをまとめ紹介文を書く。			・伝記を読んで自分の考えを書き表している。(ワークシート)	・伝記を選び、「百年後のふるさとを守る」と同じ観点を意識して読んでいる。	
	11				・書いたものを発表し合い、書く目的や意図に応じた表現になっているかどうかについて助言し合っている。	・考えを発表し合い、自分の生き方についての考えを広げたり深めたりしている。(交流・ワークシート)	
12	・友達と交流し、自分の考えを広げたり、深めたりする。						

5 本時の指導 (本時 7 / 1 2)

(1) 目標

儀兵衛の生き方や考え方について友達と交流し、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。

(2) 評価の観点と具体的評価規準

観点・具体的評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 支援を要する児童への手立て
読む能力	儀兵衛の生き方や筆者の思いについて感想や意見を持ち、友達との感じ方、考え方との共通点・相違点を考えながら交流し、自分の考えを広げたり深めたりし	儀兵衛の生き方や筆者の思いについて、感想や意見を持ち、友達との交流して、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	儀兵衛がしたこと、儀兵衛の考え方など儀兵衛の生き方を想起させ、「すごいところ」「えらいところ」など具体的に考えることができるようにする。

読む能力	ている。	
	(ワークシート・発言) (例) 私は、〇〇さんの意見を聞いて、もし、今また震災が起こったとしたら、私たち一人一人が儀兵衛のように、「互いに助け合いながら自分たちが住むところを守るのだ」という意識をもつようにすることが大切だと思いました。	(ワークシート・発言) (例) ぼくも、儀兵衛のように、今のことだけではなく、5年後、10年後、百年後のふるさとのこと、日本のことを考えられる大人になりたいです。

(3) 展開

段階	学 習 活 動 ○発問 ・期待する児童の反応 【指導の視点】	教師の関わり方 ・留意事項 ◎評価
見 通 す 5 分	<p>1 前時までの学習を想起する。 儀兵衛の生き方や考え方を確認する。 ○儀兵衛の生き方や考え方で心に残っていることや尊敬できることは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとの人の生活を助けようとした。 ・自分のことよりも人のことを大切に考える。 ・遠く未来の人々のことまで考えている。 ・自分たちで住む場所を守るのだという意識をもつようにながした。 ・難しいことでも、本当に実行する。 <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>儀兵衛の生き方や考え方から、自分の生き方について考えたことをまとめよう。</p> </div> <p>3 読みの視点を確認する。 ○今まで読み取ってきた儀兵衛の生き方や考え方を振り返ること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物や表を活用する。 ・教科書P70「地震の多いこの国に生きるわたしたちは、儀兵衛がしたことや考えたことから、多くのことを学ぶことができる。」という叙述に着目させ、問題意識をもたせるようにする。
深 め	<p>4 課題を解決する。 【儀兵衛の生き方や考え方から自分の生き方について考えさせる。】</p> <p>(1) 儀兵衛の生き方や筆者の思いについて、自分の考えをまとめる。 ○儀兵衛の行動や考え方から学ぶことができたことや、自分もこうありたいと思ったことを今の自分と関わらせながら、ワークシートにまとめましょう。また、そのように思ったのはどんな儀兵衛の行動や考えからか書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私はあまり人のために行動はしないので、少しでも役に立つことがしたいと思いました。勇気をもって何かをやれる人になりたいです。そう思ったのは、儀兵衛は、大きな決断をすばやくしてみんなのリーダーとして村や村人のために行動したところが尊敬できると思ったからです。 ・ぼくも、儀兵衛のように、今のことだけではなく、5年後、10年後、百年後のふるさとや日本、未来のことを考えられる大 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか書きまとめられない児童に対しては、机間指導の中で、「すごいと思ったところ」「偉いと思ったところ」などを問いかけるようにする。

<p>る</p>	<p>人になりたいです。そう思ったのは、儀兵衛が百年後に大津波が来ても、村を守れる大堤防を作ろうとして本当に完成させたことが心に残ったからです。</p> <p>(2) グループで自分の考えを交流する。 ○儀兵衛の行動や考え方から学んだことや、自分もこうありたいと思ったこと、その理由をグループで交流しましょう。</p> <p>(3) 全体で交流する。 ○グループの代表の人は、自分の考えを発表してください。友達の考えで参考になったことも言える人は、みんなに紹介してください。 聞くときは、自分の考えと似ているところや違うところ、自分の考えに取り入れられそうな所を意識して聞きましょう。</p> <p>(4) 交流して参考になったことをまとめる。 ○交流して参考になった友達の考えを書きましょう。自分の考えを書き足したり、書き直したりしてもいいです。 例) ・私は、〇〇さんの意見を聞いて、私も困っている人を助けたり、優しくしたいと思いました。 ・〇〇さんの考えを聞いて、自分のことだけではなく、周りの人のことを考え、優しくしたいと思いました。 ・〇〇さんが考えたように、私も儀兵衛のように勇気のある人になりたいです。いじめがあつたら、助けたいと思いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの進め方(3人グループ)と時間の目安を示す。 ・次のカードを用意しておく。 ☆進め方カード ☆聞くときに気を付けること ☆キーワード 「～と同じ」「～と似ている」「～の部分がちがっていて、～です。」 ・ ・誰の意見を聞いて書き足したり、書き直したりしたのかを聞き、交流の成果であることを積極的に評価する。 ◎感想や意見を発表し合い、自分の生き方についての考えを広げたり深めたりすることができたか。 (発言・ワークシート)
<p>35分</p>	<p>5 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。自己評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時頑張れた部分に視点をもつように促す。
<p>まとめ</p>	<p>6 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時からは、「他の人物の伝記を読んで、自分の生き方について考える」活動をしていくことを確認する。
<p>5分</p>		

(4) 板書計画

百年後のふるさとを守る

河田 惠昭

儀兵衛の生き方や考え方から、自分の生き方について考えたことをまとめよう。

(筆者) 儀兵衛のしたことや考えたことから、多くのことを学ぶことができる。また、学ばなければならない。

儀兵衛の生き方や考え方

- ・ふるさとの生活を助けようとした。
- ・自分のことよりも人のことを大切に考える。
- ・遠く未来のことまで考えている。
- ・自分たちで住む所を守るのだという意識をもつようにながした。
- ・難しいことでも本当に実行する。

自分もこうありたいと思ったこと (なぜそう思ったか。)

- ・周りの人のことを考える人でありたい。
- ・将来や未来のことも考えられる人になりたい。
- ・難しいことでも挑戦していきたい。
- ・人の役に立つ人になりたい。
- ・勇気のある人になりたい。
- ・もし、震災など大変なことが起こったら、儀兵衛のように「互いに助け合って自分たちの住む所を守る」という意識をもつようになりたい。

○学習の流れ

自分の考えを書く↓グループで交流する↓全体で交流する↓自分の考えを付け加えたり、書き直す

○進め方

○聞くときに気をつけること

※本時ワークシート (別紙参照)